





今期にて7年目を迎えております。組合員さまによりそい皆様の声を加古川支部・全理連を通して申し上げていければ、そして少しでも共済が保険が有益に組合員のために使っていたければ幸いです。

事業部



事業部の品川です。引き続きさせていただきますことになりました。今期もよろしくお祈いします。



今期で2期目の青色部長となりました。河東一義です。青色部会は、常に加古川納協協会と協力し合いながら活動しています。そして、これからも組合員の皆様が少ないながらも納税出来るよう、活動してまいります。



前期に引き続き、広報部長を務めさせて頂く事になった山岡です。広報部は組合の新聞やホームページの編集をしながらパソコンを勉強しています。楽しく読みやすい紙面を目指して日々研鑽しております。・・・言い過ぎました、遊びながら勉強しております。部員は常時募集しておりますので興味のある方は是非山岡まで！色々勉強になりますよ。



今期も引き続き教育部長をさせて頂いたたく山崎です。組合員の方々の営業に少しでもお役に立てる講習などを企画していこうと思っております。ご要望があれば何なりとお申し付けください。

今期もよろしくお祈いします。教育部長 山崎裕史



二七周年を振り返って

高校を卒業後、神戸整容学園に入學、3年程は片屋での修行を終え帰ったが父とケンカをきつかけに家出、神戸で運転手としてトラックののり身生活を壊し30歳で実家に戻り家業の理容に精進しました。しかし、仕事は一人前の仕事は出来なく、故半田氏に外弟子として師事、約3年半通い理容の仕事の花本先生には公私に亘り教えて頂きました。当時、教育部部長であった先生のお手伝いをさせて頂き、先生退任後42歳で教育部部長を拝命、6年間歴任、平成九年、三区区長として区の仕事に諸先輩及び後輩に教えてもらいながら歩きました。平成十五年、支部副支部長に就任に当たり、山本氏に区長をお願いに行き無理矢理お受けしてもらいました。平成二十一年加古川支部支部長に就任、二期六年を一区切りと考えていました所、次期支部長を予定していた山崎氏から二期三年の支部長の統投依頼があり、山本芳朗氏にも同じく統投していただきました。兵庫理容組合本部、会計監査を歴任。そこで理事としてさせて頂いて分かったことは、たくさんの友人を作ったことです。教育部時代の藪垣君を始め山本氏、村井氏、山崎氏とたくさんの友人に恵まれました。特に山本さんには私が副支部長、支部長と十五年に渡り引つ張りまわりました。播磨社会復帰促進センター矯正施設が出来て11年間、未だにお世話いただいております藪垣君とか、上げればきりがありませんが、ほんとにありがとうございます。組合員皆様方には、長年の御協力ありがとうございます。

理事を終えて



区長三期、副支部長三期を振り返ると理事を務めている間のことよりも、それ以前の未熟な私に色々な事を教えて下さった先輩方々の思い出ばかりが蘇ってきます。若い頃は悩みを一杯抱えていましたし、とにかく早く一人前になる事のみ考えて一心不乱に頑張ってきたように思っています。振り返ってみると与えてもらったばかりで恩返しをしていない自分が居たことに気がつきました。そんな事を考えている時に区長を引き受けてほしいと云う依頼がありました。二つ返事でお受けする事になりました。以来十五年間全力で来ましたが何せおりました時にもあったのではと反省して居ります。総会の折に感謝状まで頂きましたが、私自身の方が感謝をしている次第です。

任期中には「ご理解、ご協力下さった方々に心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。」

オール幹事会

寒かった冬もやっと緩んで、ダウンジャケットから薄めのジャンパーに変わった3月12日、東加古川の「さかなや道場」でオール幹事会を開催しました。



3年間（2区は1年ですが）皆さんのお世話を下さった幹事の皆さんに對しての労いの宴会です。今回のお店は初めての利用なので、料理がどんなものか少し不安もありましたが、飲み放題で、海鮮しゃぶしゃぶやサーロインステーキも付いて（さかなやだけ）、実はこのステーキが一番美味しかったと言う声もありました。おまけに8名に對して1名無料と、なかなか

コスパの高いコースでした。宴会は、支部長の挨拶、副支部長の乾杯音頭で始まり、お酒が進むにつれて中々の盛り上がりで、座席は2列だったのですが、私が座った方の席は特に騒がしく（新しく県講師になった、ある方が）他の一般客にいつ文句を言われるか、ヒヤヒヤしていました。そのせいか、本来の目的だったはずの幹事さんの接待をすっかり忘れてしまっていて申し訳ない時間をお過ごし事が出来ました。

そして最後に、皆にいられたまわった新県講師の、決意表明の挨拶のおかげで、これで皆さんの3年間の労に少しでも恩返しが出来ていたら良かったのですが、どうでしたか？

2区 平賀勲美 優勝者：山崎信明氏 2位：天毛 正氏

野球部部長の難波

加古川野球部の平均年齢49.7です。でも、みんな若いです。今年も元気一杯頑張ります。興味のある方いつでも来てください。応援よろしくお願いします。



3区 ゴルフコンペ 去る4月23日（月）に加西カントリークラブにおきまして恒例のゴルフコンペが開催されました。新緑の季節、お天気にも恵まれ4組15名が自慢の腕を競い合いました。優勝者はなんと山崎支部長・賞金や賞品を総取りでスキップしながら帰宅されました。次回は秋開催予定。3区以外の皆様のご参加お待ちしております。

探訪五月晴れ

4月の半ば、春というより初夏を思わせる『ちくさ高原』を歩いた。キラキラ光る木漏れ日の中、髪にタンポポの花を挿したパトナーと。この高原に来るのは、冬のスキー、夏のキャンプ、ハイキングなど最初からだと三十年以上になるだろう。この時期は素晴らしい緑だ、出来たての緑が実に良い。そして出来立ての空気。最初に耳に飛び込んで来る鳥のさえずり、たぶんカンプラ飛ぶ1羽が飛びは必ずついて飛ぶのがある。果に帰って行くのだから。山並みが続く先を目で追っていき山並みが目線から遠くなり雲の中に消えて、谷が薄紫になって行く。自然にはそれいさわしい時間の流れというものがある。例えば植物の種が根を伸ばしそこから芽を出し花をつけるまでの時間。『ちくさ高原』を源流とする千種川も一滴の水が沢を作り川となり瀬戸内海へ、山の栄養分を運び美味いカキ等を育てる。生活の中で自分がどの様にすれば心地よく生きられるか、回りの人達とコミュニケーションを良好に保つための大きな自然の中で学びたい。鳥の声を聴いたり、雲を目で追ったり、星を数えたり。

どこか違う国、行った事のない緯度の高い方。ヨーロッパの北の国にいる様な気分の中に自分を置く。テレビやインターネット、スマホの時代だからこそ、さぞや退屈だろうが、たまには自然の中に身を置き、月を思い、風を花を色々な物がじんわりと心の中に広がって、心を暖かくしてくれる。最後に欲張って心の中で唱える祈りのことば、いつも決まって『世界中が平和でみんなが幸せになれ、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ご先祖様、命のつながりのある物全てに感謝します。そしていつも見守って下さりありがとうございます。今日も一日元気に過ごせますようにお祈り下さい、生きとし生けるものがどうぞ幸せでありますように。』 春の総会も終わりました。お互い平凡な人間の集まり『小さな気持ちで日々持ち寄り、少しずつ理想の組合を作りましょう』理想が何かは分かりませんが、

